

元海軍軍屬未復員者調查票

連絡番号	留守擔當者 (19 姓 氏)	元海軍軍屬未復員者調査票			
		身分	氏名	生年月日	(本) 現 住 所
		現 住 所	氏 名	生 年 月 日	(本) 現 住 所
		現 住 所	氏 名	生 年 月 日	(本) 現 住 所

家族の承知されてゐる情況

職名	内務省所屬 警務部警務課警務官
志願、徴用、現地採用等の別	現地採用
採用又は徴用年月日及部隊名 (船員は船名及船主)	昭和十九年五月一日 佐世保海軍施設部警務
現外地勤務の部隊名及所	佐世保海軍施設部警務
本人からの最後の手に就いて御記入下さい	差出日附()年()月()日 部隊符号() 受領年月日()年()月()日 校閲者印() 内容
職名	内務省所屬 警務部警務課警務官
志願、徴用、現地採用等の別	現地採用
採用又は徴用年月日及部隊名 (船員は船名及船主)	昭和十九年五月一日 佐世保海軍施設部警務
現外地勤務の部隊名及所	佐世保海軍施設部警務
本人からの最後の手に就いて御記入下さい	差出日附()年()月()日 部隊符号() 受領年月日()年()月()日 校閲者印() 内容

帰還者からの情報 (自衛隊の方では本場にて等々情報者を個人に對する下は、)

情報提供者	未処理者個人に対する情報
同右現住所	船越者の属してゐた部隊の情報
本人入った人からいつか入って下さい	この欄には所属部隊の行動、戦闘状況（艦船事故ならその状況）を詳しく書いて下さい （特に場所、年月日を洩らさない様にして下さい）
職殺者でしたらその状況を本欄に記入して下さい	
(死亡か病死なら病い)を記入して下さい	
行方不明ならばその状況を記入して下さい	
他に知る方につては下の住所氏名を記入して下さい	
備考	

卷六

本

317

西曆一千九百二十三年
癸亥年十二月二十三日

者 售 中

氏	所	現	奉
	屬	住	經
	部		地
名	隊	所	

石
二
合

警署設
入府移設

三十一卷

卷一

(一) 本局督八區隊長又八區秘書拔者等二於今吳池方傳員局人江紀長紀

二
吳通
以報
在二
特非
ノズ
等下
務國
土人
官ル
ノモ
士ノ
官モ
下二
土付
官記
ノ取
モス
兵
二
付
肥
親
心

同府縣人不知隨他所歸出處若二區才毛肥饒不

知得
 九
 二
 於
 乎
 出
 深
 法
 不
 誤
 子
 詳
 細
 二
 能
 敷
 不

附錄

獎市

勇雄方便與局人聯聯長

死歿者調書

木籍地	現住所	所屬部隊	入團月日	等	内地港島出	外港到	勤務概要	死歿又受傷	病名又受傷部位	死歿又受傷時
	同右		昭和九年五月	級整備兵長	内地港島上	外港到	飛行機整備	昭和二十年四月二日	全身	昭和二十年四月二日
			役種	年氏	内地港島上	外港到				
			兵種	番号						

(17-11)

死亡年月日 昭和二十一年四月二日 刻
死亡時の状況 受傷入院直ぐに死亡

右之通り承知してなますから申告致します

昭和二十一年三月十五日

等級陸軍中尉 氏名

申告者の			申告
入籍番号	本籍地	現住所	所属部隊
		同上	比島派遣隊 第五七部隊

備考

一 本調書は死没者の身上関係一切を處理するものであるので慎重に且つ詳細に記入して下さい

二 他人から聞いて承知した事項は他の参考となるべき資料はその旨末尾餘白に記入して下さい

福井縣

127-10

戰死證明書

本籍

右ノ者以島カリメシノ戦斗ニ於テ戦死セリ
ト証明ス

昭和二十一年一月十一日

保証人

子月日生

保証人

子月日生

右合

保証人

子月日生

21.7.15 公惠

212

昭和十一年五月三十一日

申告	現住所	現住所ニ在リ	國等級	陸軍水兵
有氏	所屬部隊		入籍番號	
氏	石			

備考

- (一) 本調査ハ部隊長又ハ残務取扱者等ニ於テ吳地方役員局人事部長宛通報ニシテト認ムルモノニ付記載ス。
- (二) 吳鎮在籍ノ特務士官准士官下士官共ニ付記載ス。
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス。
- (四) 知得シル範圍ニ於テ出来得限リ詳細ニ記載ス。
- (五) 他人ヨリ聞テ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス。
- (六) 送付先

吳市

吳地方役員局人事部長宛

一

宛と「コニエドール」部隊の左の軍人の消息は、氏が知つてゐるものとある。

部	隊	氏	名	兵	備	氏	住	所
三十一	師	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
師	本	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
師	本	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]

南朝鮮一特別編入のついでには既に解通した
 〔知つてゐる〕
 の
 水長が上

金有在
 一復人、南面方面、南朝鮮、南朝鮮、一復人
 一復人、在外、南朝鮮、南朝鮮、一復人
 新進世、南山世、大隈世、和歌山世

1567

第三百三十三號軍工作部親地孫周工員調書

15 1940

21-9-15 乙未

[illegible]

270

本籍

理

所屬

人蘭年

虛等

內江縣志

辨別者

2

壽

卷之四

卷之五

卷之六

1946年5月

12

卷之四

尊

卷之五

五

234

備考

- (一) 本朝書ハ都府長不所務程報有等 此地方復更等人事却是本通徴
スキ 肅任者 知得シテスル 應ムルニ付 記新ス
- (二) 吳鎮在籍ノ持務古長 海士良下主官共ニ付 記新ス
- (三) 同府縣人ハ勿論 他府縣出身 皆ニ詳シキニ 記新ス
- (四) 知得シル範圍ニ於テ出来得ル限 詳細ニ記新ス
- (五) 他人ノ闕キテ承知シテ事項ハ 右當該欄ニ相テ方ニ 記新ス

申告書

申告者	所屬	本務所書記	職	二	氏名	[Redacted]		人別番号	[Redacted]
	勤務先	[Redacted]							
知得シタ職死者、短乏不問者、逃亡者等ノ情况 （種類、月日、場所、状況） インフラタ出中ルハ、三、四路に於 此軍と交戦を助けて、通敵を 即死 二〇、四、六 一九〇〇頃 インフラタ油軍東部陸地に於て 右大勝を有す、敵軍は海内にて 死す									
本		籍		在籍地	最長ノ 所屬	等級	氏名	入籍 年月	
[Redacted]		[Redacted]		新潟	本務所	二	[Redacted]	[Redacted]	

注意
一、本人ノ在籍地守府等ニ別紙ニスル
二、情况説明ニハ出来レバ詳細ソク加ヘルコト

7167

15 2504

記事	猶惠	略歴	現職	生年月日	籍地	現職	現職	現職	現職
記事	猶惠	略歴	現職	生年月日	籍地	現職	現職	現職	現職
記事	猶惠	略歴	現職	生年月日	籍地	現職	現職	現職	現職
記事	猶惠	略歴	現職	生年月日	籍地	現職	現職	現職	現職
記事	猶惠	略歴	現職	生年月日	籍地	現職	現職	現職	現職
記事	猶惠	略歴	現職	生年月日	籍地	現職	現職	現職	現職

(古) (1-10)

17210

1550

8832

記事

消息

略歴

生年月日
本籍地
現住所
(家族名)

第百三海軍工作部現地採用工員調査

二等工員

採用前

採用年月日

給料(日給)

戦

日別
場所
戦況

戦場

戦

戦場
戦況

戦

戦場
戦況

戦

戦場
戦況

戦

戦場
戦況

外務省海軍課工員

第百三海軍工作部現地採用工員調査

昭和二十年一月一日

昭和二十年四月一日

昭和二十年八月一日

昭和二十年十一月一日

昭和二十年十二月一日

昭和二十一年一月一日

昭和二十一年二月一日

昭和二十一年三月一日

昭和二十一年四月一日

昭和二十一年五月一日

昭和二十一年六月一日

54097

No.

星島平野 第三十一特別根據地隊 (久松所)

近田連舞 昭和二十九年十一月十四日

置斗並終 南西方面部隊、作戦座下

置斗部隊 第三十三海軍航空隊 (ノリ、ル、島、アル、バ、イ、河、チ、カ、ミ、ロ、)

海軍中佐 (昭三〇、四二九日)

本人

支隊(軍)一〇五五

昭三〇、四九日一四時一六〇〇 海軍中佐 置斗

(ノリ、ル、島、アル、バ、イ、河、チ、カ、ミ、ロ、)

置斗中佐 置斗小隊長 海軍中佐 置斗

昭和二十九年一月九日 ()

昭和 年 月 日

元
汲
者
調
書

[illegible]

三ノ人三三〇

現況不明者調査依頼

三ノ人三三〇
三ノ人三三〇
三ノ人三三〇

中
現住所
元等級
技大尉氏名

本
籍
地
名

等級氏名

所轄名
三ノ人三三〇
昭和二十年四月一日
19.6.19
特技中
普電信
昭和二十年四月一日
18.8.1

人
参
考
事
項
三ノ人三三〇

回答欄
死没年月
昭和二十年四月一日
死没場所
ヒリウピン、ホロ島ホロ
死没状況
敵上陸戦後、状況不明ナルモ、戦死セルモト認ム

其
遺骨遺留品ナシ
戦死年月日、同地戦後状況ヨリ推定セルモノ

三ノ人三三〇
三ノ人三三〇
三ノ人三三〇

(一) 戦況不明者調査依頼
(二) 戦況不明者調査依頼
(三) 戦況不明者調査依頼
(四) 戦況不明者調査依頼

21.6.1 公理

5.227.-

42032

1243

21-7-15 云

記事

消息

略歴

生年月日
本籍地
現在地

廣百三海軍工作部現地採用工員調査書

調査員 佐藤 龍雄

二等工員

(白)

採用期

採用年月日

給料(日給)

戦時

場所

現職者

戦時以外、消息

住所

職名

給賞

典賞

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

昭和二十年四月十五日(採用)

8765

16600

生年月日 籍地 本籍地 現住地	略歴	遺志	手帳
第百三海軍工務部現地採用工員調書 年 月 日	採用年月日 採用前 給料(日給)	戦場 戦時 戦後 戦死 戦傷 戦病 戦死(戦病)	戦死以外 戦時 戦後 戦死 戦傷 戦病 戦死(戦病)
第百三海軍工務部現地採用工員調書 年 月 日	採用年月日 採用前 給料(日給)	戦場 戦時 戦後 戦死 戦傷 戦病 戦死(戦病)	戦死以外 戦時 戦後 戦死 戦傷 戦病 戦死(戦病)

54-10

7142
u 2427-4 v

第百三海軍工作部現地採用工員調書 二等工員 姓名 籍貫 生年 現住地 家族 一	略 歴	職 意	記 事
採用年月日 採用場所 採用理由 採用決定	採用年月日 採用場所 採用理由 採用決定	職 意 現地採用 現地採用 現地採用 現地採用	記 事 現地採用 現地採用 現地採用 現地採用
採用年月日 採用場所 採用理由 採用決定	採用年月日 採用場所 採用理由 採用決定	職 意 現地採用 現地採用 現地採用 現地採用	記 事 現地採用 現地採用 現地採用 現地採用

(余京局)

154-15

7165

第百三海軍工作部現地擄用三員謹書

此 亦 謂 諸 君 也

附錄

170-27

✓ 7170

第百三 通軍工作部現地探問員調查

卷一百一十五 五言古詩 謝靈運 登池樓

1.72-12

秘

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

生年
月
日

本籍
地

現住
所

時
歷

消
息

記
事

二等工員

全
錄
合

採用
期

採用
年月日

給
料
(日給)

戰
日
別
狀
時

場
所

死
現
有
在
所

戰
死
以外
之
消
息

給
與
賞
典

典
賞
典

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

第百三海軍工作部現地採用工員調書

現認證明書

本籍

現住所

所屬部隊 海軍一〇三施設
階級氏名 軍属

入隊月日 昭和十六年八月

二部隊場所及部隊名 本島

三戦死年月日 昭和貳拾年四月十日

四戦死場所 比律ビニ郡島ニダナオ 本島

五死因 戦斗

六戦死状況

昭和 年 月 日

右ノ通り相違ありませ。

昭和二十二年四月

現住所
所屬部隊名

〇三施設部

明

登録番號 3540

93

戦

元海軍軍人現況不明者調書

所轄(詳令年月日)		等	氏	名	生年月日	入籍番號	本	籍	地
二〇一〇		長	氏	名	二〇一〇	二〇一〇	縣	市	町
留守擔當者		父	氏	名	現	住	所		
既知	一、佐世保人事業務課資料	一、(1)遺骨有無(2)遺留品有無	氏	名	現	住	所		
知事	二、世話課(科)資料	一、二〇一〇年四月に戦死(戦友の名)	氏	名	現	住	所		
取	三、家族(身寄)承知事項	二〇一〇年四月に戦死(戦友の名)	氏	名	現	住	所		
情報提供	内地歸還年月日	部	隊	等	氏	名	入籍番號	現	住
昭和	二〇一〇	空	二	整	氏	名	入籍番號	現	住
年月日									
所屬部隊に關するもの									
これ以上詳細な情報があるときは別紙に記載すること									
現況不明者個人に關するもの									
一、本人とは何處で何時迄一朝にいたか									
二、その時の本人の状況									
自昭和 年 月 日									
昭和 年 月 日									

愛媛縣

一、編成の時期及び場所(昭和 年 月 日)
二、内地出撃の時期及び場所(昭和 年 月 日)
三、進出要領

一、本人とは何處で何時迄一朝にいたか
二、その時の本人の状況

自昭和 年 月 日
昭和 年 月 日

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 家 族 の 入 手 し て い る 情 報	組 乗 有 個 便 乗 乗		故 事 の よ に 船 艦		動 行 一 同 と 者 明 不 況 現		動 行 別 と 者 明 不 況 現		現 況 の 斗 戦 動 向	
		五、事故（被害）の状況 (イ) 空襲 (ロ) 陸襲	六、終戦時の状況 (イ) 所在地 (ロ) 隊員数 (ハ) 傷病者数 (ニ) 集結又は收容地	七、終戦後の状況 (イ) 衛生 (ロ) 給食 (ハ) 衛生 (ニ) 衛生	八、歸還の状況 (イ) 開始 (ロ) 終結 (ハ) 開始 (ニ) 終結	一、艦船名 二、行先 三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日 四、便乗者の所轄、軍人、平民別員数 五、事故の原因及びその年月日 (空襲、潜水艦、砲撃) 六、事故発生時の位置及び被害の状況 七、救護の状況	三、同部隊名 四、承知事項を 家族に通知有 無知らしむら その内容	五、戦死 年月日 戦場 戦況	六、戦死 年月日 戦場 戦況	七、戦死 年月日 戦場 戦況	八、戦死 年月日 戦場 戦況
(公)											
(明)											
(不)											
(生)											
佐世保人事業務課にて判定		佐世保人事業務課にて判定		佐世保人事業務課にて判定		佐世保人事業務課にて判定		佐世保人事業務課にて判定		佐世保人事業務課にて判定	
世話課(科)にて判定		世話課(科)にて判定		世話課(科)にて判定		世話課(科)にて判定		世話課(科)にて判定		世話課(科)にて判定	
昭和7年7月1日		昭和7年7月1日		昭和7年7月1日		昭和7年7月1日		昭和7年7月1日		昭和7年7月1日	

8843

1935

昭和十一年

証明書

元 第百三海軍工務部 工員
横濱造船所工員

昭和十一年

右者昭和十一年三月一日入社の老所 船渠工二等
工手係並にありしに 昭和十一年三月二十五日老所
バラオ派遣としてサイパン島に向ひ、五月十三日バラオ島
に上陸 直に三三の海軍工務部へ假入隊の上りつゝ
建設工事に従事した如 新島の相移に伴ひ
八月廿一日比島で下島に移駐、次いで十二月廿五日
比島よりミラに上陸 即日第百三海軍工務部に假
入隊の上りつゝ 従事し、十二月廿五日の
ミラ島上陸に當り 経費 用 各地に轉進 新設

67-11

のこと、せう、今人は北平にソレ、サニタイネス（インハンチ
川上流）に集合した。晴れ、五日ハワ。四月十日インシ
タに向つて出發した。途中マウリヤ、不化の地の
四月十三日、遂に、死せられた。たゞである。
昭和ハ、ハ、四月三日、すうり

死後者朝書

人右

海軍 部隊 (九三三航空隊)

昭和十九年三月十五日

官等機関文

昭和十九年九月廿八日

昭和十九年九月廿八日

昭和十九年九月廿八日、水師提督を兼ね、同月二十七日、上陸、八月廿八日、高知にて任務、八月廿九日、高知にて任務、八月三十日、高知にて任務、九月一日、高知にて任務、九月二日、高知にて任務、九月三日、高知にて任務、九月四日、高知にて任務、九月五日、高知にて任務、九月六日、高知にて任務、九月七日、高知にて任務、九月八日、高知にて任務、九月九日、高知にて任務、九月十日、高知にて任務、九月十一日、高知にて任務、九月十二日、高知にて任務、九月十三日、高知にて任務、九月十四日、高知にて任務、九月十五日、高知にて任務、九月十六日、高知にて任務、九月十七日、高知にて任務、九月十八日、高知にて任務、九月十九日、高知にて任務、九月二十日、高知にて任務、九月二十一日、高知にて任務、九月二十二日、高知にて任務、九月二十三日、高知にて任務、九月二十四日、高知にて任務、九月二十五日、高知にて任務、九月二十六日、高知にて任務、九月二十七日、高知にて任務、九月二十八日、高知にて任務、九月二十九日、高知にて任務、九月三十日、高知にて任務、十月一日、高知にて任務、十月二日、高知にて任務、十月三日、高知にて任務、十月四日、高知にて任務、十月五日、高知にて任務、十月六日、高知にて任務、十月七日、高知にて任務、十月八日、高知にて任務、十月九日、高知にて任務、十月十日、高知にて任務、十月十一日、高知にて任務、十月十二日、高知にて任務、十月十三日、高知にて任務、十月十四日、高知にて任務、十月十五日、高知にて任務、十月十六日、高知にて任務、十月十七日、高知にて任務、十月十八日、高知にて任務、十月十九日、高知にて任務、十月二十日、高知にて任務、十月二十一日、高知にて任務、十月二十二日、高知にて任務、十月二十三日、高知にて任務、十月二十四日、高知にて任務、十月二十五日、高知にて任務、十月二十六日、高知にて任務、十月二十七日、高知にて任務、十月二十八日、高知にて任務、十月二十九日、高知にて任務、十月三十日、高知にて任務、十一月一日、高知にて任務、十一月二日、高知にて任務、十一月三日、高知にて任務、十一月四日、高知にて任務、十一月五日、高知にて任務、十一月六日、高知にて任務、十一月七日、高知にて任務、十一月八日、高知にて任務、十一月九日、高知にて任務、十一月十日、高知にて任務、十一月十一日、高知にて任務、十一月十二日、高知にて任務、十一月十三日、高知にて任務、十一月十四日、高知にて任務、十一月十五日、高知にて任務、十一月十六日、高知にて任務、十一月十七日、高知にて任務、十一月十八日、高知にて任務、十一月十九日、高知にて任務、十一月二十日、高知にて任務、十一月二十一日、高知にて任務、十一月二十二日、高知にて任務、十一月二十三日、高知にて任務、十一月二十四日、高知にて任務、十一月二十五日、高知にて任務、十一月二十六日、高知にて任務、十一月二十七日、高知にて任務、十一月二十八日、高知にて任務、十一月二十九日、高知にて任務、十一月三十日、高知にて任務、十二月一日、高知にて任務、十二月二日、高知にて任務、十二月三日、高知にて任務、十二月四日、高知にて任務、十二月五日、高知にて任務、十二月六日、高知にて任務、十二月七日、高知にて任務、十二月八日、高知にて任務、十二月九日、高知にて任務、十二月十日、高知にて任務、十二月十一日、高知にて任務、十二月十二日、高知にて任務、十二月十三日、高知にて任務、十二月十四日、高知にて任務、十二月十五日、高知にて任務、十二月十六日、高知にて任務、十二月十七日、高知にて任務、十二月十八日、高知にて任務、十二月十九日、高知にて任務、十二月二十日、高知にて任務、十二月二十一日、高知にて任務、十二月二十二日、高知にて任務、十二月二十三日、高知にて任務、十二月二十四日、高知にて任務、十二月二十五日、高知にて任務、十二月二十六日、高知にて任務、十二月二十七日、高知にて任務、十二月二十八日、高知にて任務、十二月二十九日、高知にて任務、十二月三十日、高知にて任務、

昭和十九年九月廿八日

榮養失調症

昭和十九年九月廿八日

昭和十九年九月廿八日

昭和十九年九月廿八日

105

昭和四年四月於參事後時比島バヤオ。三海軍病院

古

年 月 日

水 籍

現 任 所

所 屬 部 隊 海軍 部隊

氏 名

[Redacted Name]

入籍番號

官 年 級 海軍上等機長

備考

一、 徴収投有等是地方復興局人事部長宛通報へて書送者ニ
 二、 ハト認ルモノ付託載ス
 三、 手出来得ル限り詳細に託載ス
 四、 承知シタル事項ハ各當該欄・相手方ヲ託載ス

454710

元亡現認

本籍地

軍

大正

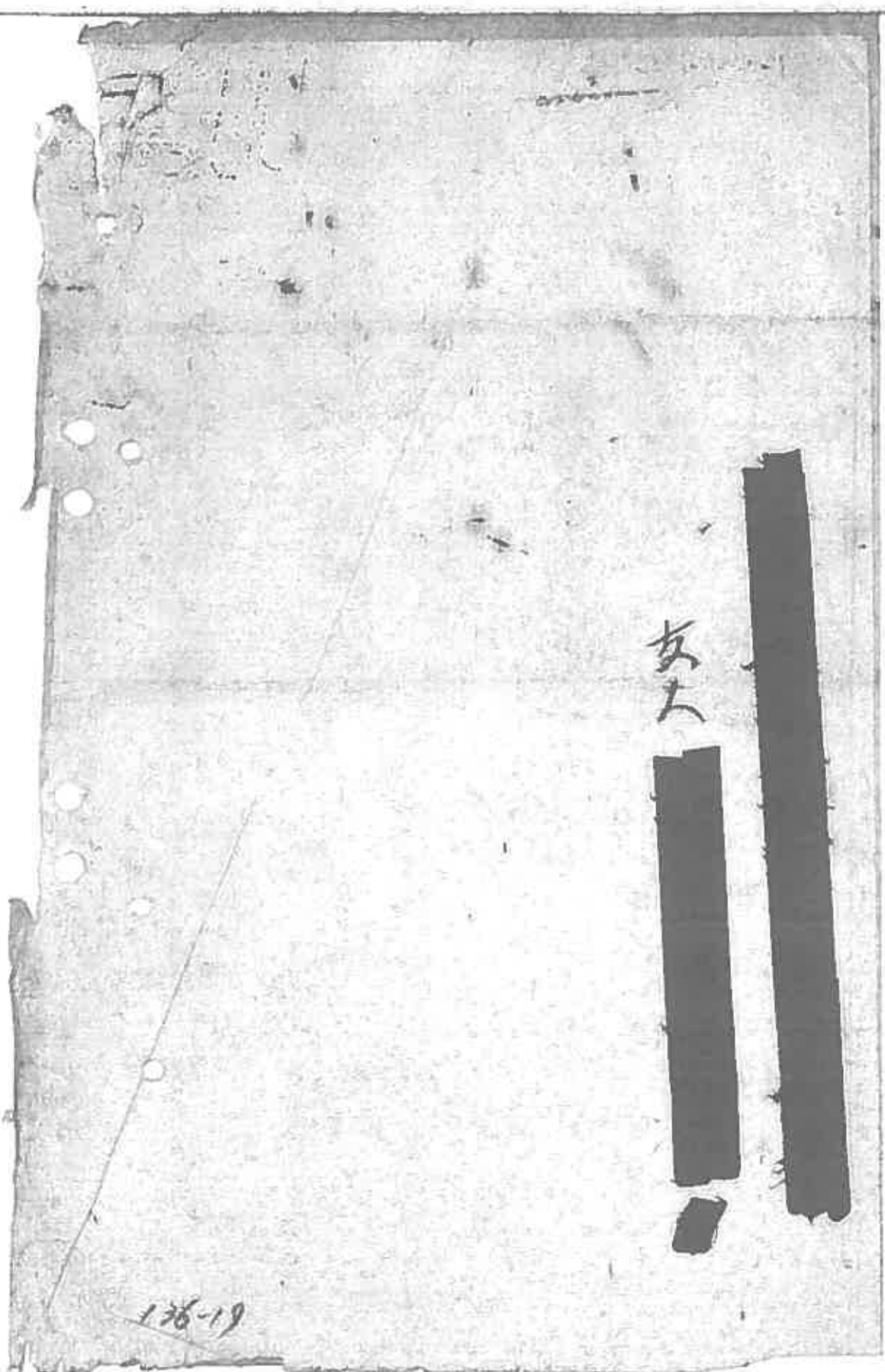
石、香、地、和、一、九、年、一、月、一、日、現、地、

海、軍、在、該、部、工、作、隊、應、召、中、和、

廿、年、四、月、一、日、比、島、ゴ、カン、洲、イ、ー、ダ、ン、

附、近、二、枚、リ、敷、病、死、セ、ル、タ、ト、現、認、ス、

126/18



176-19

友人

吳忠方復員局人事部長 記

102418

7131

記事	満 惠	略 正	籍 地 年 月 日
給 與 實	死 場 所 死 時 死 因 死 者 名 所 在 地 死 後 の 遺 言 死 後 の 遺 品 死 後 の 遺 金	保 用 前	本 籍 地 年 月 日
現 地 於 ア	死 場 所 死 時 死 因 死 者 名 所 在 地 死 後 の 遺 言 死 後 の 遺 品 死 後 の 遺 金	保 用 前	本 籍 地 年 月 日

第百三海軍工作部現地採用工員調査

昭和二十年四月十五日

昭和二十年四月十五日

150

1173

2520-8

記事	注意	略歴	生年	本籍地	職名	備考
			二等工員			第百三海軍工作部現地採用工員調書 昭和十九年四月十五日 （父）
給與 現職於 現職於	現職者 現職者 現職者	採用年月日 採用年月日 採用年月日				第百三海軍工作部現地採用工員調書 昭和十九年四月十五日 （父）

(根室局)

172-18

第百三海軍工作部現地採用工員調査

記号		通惠		略歴		採用年月日		採用場所		採用理由	
氏名	年齢	籍地	職業	採用年月日	採用場所	採用理由	採用年月日	採用場所	採用理由	採用年月日	採用場所
田中 幸次郎	25	東京府	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	東京府	採用理由	昭和十八年一月十五日	東京府	採用理由	昭和十八年一月十五日	東京府
山田 一郎	28	大阪府	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	大阪府	採用理由	昭和十八年一月十五日	大阪府	採用理由	昭和十八年一月十五日	大阪府
佐藤 三郎	30	神奈川	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	神奈川	採用理由	昭和十八年一月十五日	神奈川	採用理由	昭和十八年一月十五日	神奈川
鈴木 五郎	32	福岡	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	福岡	採用理由	昭和十八年一月十五日	福岡	採用理由	昭和十八年一月十五日	福岡
高橋 七郎	35	京都府	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	京都府	採用理由	昭和十八年一月十五日	京都府	採用理由	昭和十八年一月十五日	京都府
中村 八郎	38	新潟	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	新潟	採用理由	昭和十八年一月十五日	新潟	採用理由	昭和十八年一月十五日	新潟
小林 九郎	40	山梨	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨
西村 十郎	42	長野	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野
山口 十一郎	45	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
佐々木 十二郎	48	茨城	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	茨城	採用理由	昭和十八年一月十五日	茨城	採用理由	昭和十八年一月十五日	茨城
渡辺 十三郎	50	栃木	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	栃木	採用理由	昭和十八年一月十五日	栃木	採用理由	昭和十八年一月十五日	栃木
森田 十四郎	52	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
山本 十五郎	55	山梨	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨
田村 十六郎	58	長野	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野
中村 十七郎	60	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
小林 十八郎	62	茨城	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	茨城	採用理由	昭和十八年一月十五日	茨城	採用理由	昭和十八年一月十五日	茨城
西村 十九郎	65	栃木	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	栃木	採用理由	昭和十八年一月十五日	栃木	採用理由	昭和十八年一月十五日	栃木
山口 二十郎	68	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
佐々木 二十一郎	70	山梨	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨
渡辺 二十二郎	72	長野	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野
森田 二十三郎	75	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
山本 二十四郎	78	山梨	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨
田村 二十五郎	80	長野	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野
中村 二十六郎	82	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
小林 二十七郎	85	茨城	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	茨城	採用理由	昭和十八年一月十五日	茨城	採用理由	昭和十八年一月十五日	茨城
西村 二十八郎	88	栃木	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	栃木	採用理由	昭和十八年一月十五日	栃木	採用理由	昭和十八年一月十五日	栃木
山口 二十九郎	90	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
佐々木 三十郎	92	山梨	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨
渡辺 三十一郎	95	長野	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野	採用理由	昭和十八年一月十五日	長野
森田 三十二郎	98	群馬	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬	採用理由	昭和十八年一月十五日	群馬
山本 三十三郎	100	山梨	海軍工作部	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨	採用理由	昭和十八年一月十五日	山梨

4.1654

証 書	消 息	時 間	現 在 地 所 在 所
失 格 賞 典 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日	死 傷 損 失 現 在 地 所 在 所 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日	給 料 日 時 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日	現 在 地 所 在 所 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日 昭和二十年四月十五日

46680

死之確認書

一 所属部隊

第三十五警備隊

隊長

一 葬儀地

一 官氏名

海軍上等水兵

二 死亡場所

ルン島 プーラン、戦闘中於て戦死

三 死亡年月日

昭和二十五年四月十五日

四 死亡区画

戦死

右戦死を事実と確認す

昭和二十五年一月六日

元第三十五警備隊

隊長

復員年月日

昭和二十五年一月六日

16680

8512

47806

死 歿 者 調 書

本籍地	[Redacted]
現住所	右 全
所屬部隊	兵向氣付中二七一六九 部隊陸戰隊名比島空部二大隊 中二大隊第一小隊
入團年月日	役種 兵種
官等級	海軍水兵長 氏 名 [Redacted] 生年月日 [Redacted] 入籍番号 [Redacted]
内地港出發年月日	昭和九年七月辛酉吳軍港出發港至右若松城港至青森港
戰地到着年月日	右 八月五日比島(ルソン島)ニ上陸入港
勤務概要	錦山砲術学校後第一三三防衛隊 [Redacted] 部隊 中五耗機銃射撃中二ノ勤務
戦病(受傷)年月日	戦中中迫撃中砲彈中二ノ背部貫通銃創

533

55

病名(受傷部)	熱病(傷寒) 時疫 瘧疾
死年月日	昭和三年四月廿九日
死場所	東京府下谷区下谷
右申告人	昭和三十二年五月二十九日
本籍地	[Redacted]
現住所	右 公
所属部隊	英海軍一等兵曹
氏名	[Redacted] 入籍番号 [Redacted]

55-10

死歿者調書

本籍地

現住所

所屬部隊 吳海兵團

入團 昭和十五年四月

官等 伍長

受傷場

受傷部位

戰歿場所

戰歿者住所氏名

[Redacted]

前

後 續 現 役

入籍 不 明

受傷場 昭和十五年四月十六日 陸軍重傷立二醫院 入院

受傷部位 頭部二被彈 重傷

戰歿場所 昭和十五年四月十六日 陸軍重傷立二醫院 入院

戰歿者住所氏名 元海軍大尉

以上

山口縣南食郡赤松町
電話番古局一番

本籍地

現住所

右同

所屬部隊

比山瑤女天三三鑿簡冰

入國月日

昭和十一年八月十日

役種現

矢種永昌

官等級

生氏
身月
臣名

入齋香號

卷之四

戰地到蒼耳月

勤務概要

宣統元年

病名(症傷部位)

卷之四

卷一百一十五

昭和三年九月十七日
不仕於人歟
歟

右申告人

(肆) 第四

2427

籍貫 生年 月日 籍地	略 歷	強 懲	記 事
三等工員	採用年月日	職 場 別 及 實 務 所	
全縣全	昭和十九年五月五日（採用）	戰 場 別 及 實 務 所 死 （ 有 克 敵 陣 勳 章 ）	戰死於 （ 有 克 敵 陣 勳 章 ）

（
有
克
敵
陣
勳
章
）

164

2334

21-7-15 公表

1949

証 書	端 惠	野 上	生年 月 日 籍 地	第百三海軍工作部現地採用正員調書
給 與 賞 典	戦 歿 外 消息	歿 時 場 所	採用年月日 給與(日給)	採用前
現地に於て 昭和二十一年四月十八日 五時〇〇分	海軍主計大尉	北緯四十七度、東經 一五五度、南緯 一五度、西經 一五五度	昭和二十一年四月十八日 五時〇〇分	昭和二十一年四月十八日 五時〇〇分

274

2446

9160

[illegible]

(太陽廟)

125-17

死 亡 証 明 書

陸・海・邦

資 料 提 供 者 死 亡 証 明 書 個人 的 承 知 し 方 知 照 査 所 属 部 隊 戦 死 状 況	遺 留 品 の 処 理 遺 骨 及 び 骨 骸 の 処 理 元 死 亡 事 由 (傷 病 名) 米 軍 と 戦 斗	死 亡 証 明 書 死 亡 区 分 戦 死 死 亡 日 時 昭 和 十 年 四 月 十 八 日	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書
死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書
死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書
死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書	死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書 死 亡 証 明 書

裏面記載上の注意を記しておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

邦·海·陸

資 料 提 供 者		死		亡		者	
死に付いた方	死に付いた方	開戦時の住所 (在留地)	本籍地	区 分	発病時期	発病場所	死 死亡区分
個人	個人	所屬(所轄) 有 固	細 部 地	内 容			
所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	細 部 地	比 島				
開戦時の住所 (在留地)	開戦時の住所 (在留地)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
本籍地	本籍地	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
区 分	区 分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病時期	発病時期	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病場所	発病場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
死 死亡区分	死 死亡区分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
亡 死亡日時	亡 死亡日時	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
諸 死亡場所	諸 死亡場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
元 死亡事由 (傷病名)	元 死亡事由 (傷病名)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺骨及び遺 骸の処理	遺骨及び遺 骸の処理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺留品の処 理	遺留品の処 理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
個人	個人	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
開戦時の住所 (在留地)	開戦時の住所 (在留地)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
本籍地	本籍地	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
区 分	区 分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病時期	発病時期	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病場所	発病場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
死 死亡区分	死 死亡区分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
亡 死亡日時	亡 死亡日時	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
諸 死亡場所	諸 死亡場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
元 死亡事由 (傷病名)	元 死亡事由 (傷病名)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺骨及び遺 骸の処理	遺骨及び遺 骸の処理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺留品の処 理	遺留品の処 理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
個人	個人	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
開戦時の住所 (在留地)	開戦時の住所 (在留地)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
本籍地	本籍地	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
区 分	区 分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病時期	発病時期	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病場所	発病場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
死 死亡区分	死 死亡区分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
亡 死亡日時	亡 死亡日時	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
諸 死亡場所	諸 死亡場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
元 死亡事由 (傷病名)	元 死亡事由 (傷病名)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺骨及び遺 骸の処理	遺骨及び遺 骸の処理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺留品の処 理	遺留品の処 理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
個人	個人	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
開戦時の住所 (在留地)	開戦時の住所 (在留地)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
本籍地	本籍地	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
区 分	区 分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病時期	発病時期	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
発病場所	発病場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
死 死亡区分	死 死亡区分	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
亡 死亡日時	亡 死亡日時	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
諸 死亡場所	諸 死亡場所	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
元 死亡事由 (傷病名)	元 死亡事由 (傷病名)	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺骨及び遺 骸の処理	遺骨及び遺 骸の処理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
遺留品の処 理	遺留品の処 理	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
個人	個人	所屬部隊又は職 称 通	比 島				
所屬部隊又は職 称 通	所						

4730

大
書
地方世話部第二課

本
現任所
同
右

所属部隊
第三五聯隊

入團年月
昭和十一年一月十日

留年級
上等兵曹
昭和十一年一月十日

門地
不詳

職業
不詳

軍令
不詳

在職年月
不詳

在職年月
不詳

在職年月
不詳

在職年月
不詳

在職年月
不詳

昭和二十一年十月十七日

理任所	所属部隊	氏名
	第三十三軍司令部	
官号	入籍者	
生計大尉		

備考

- (一) 本調査へ参加するハ既知の者ヲ得テ之ヲ得ルハ事知悉ク記載スベキ事ナリ
- (二) 既知シテ了ラズト記スルモノモ付記ス
- (三) 吳淞在籍ノ特務士官並士官下士官共付記ス
- (四) 同所籍人ハ勿論在籍者モ知イテモ記載ス
- (五) 知得シテハ範圍ニ於テ出外ト限リ附記ス
- (六) 他人カリヲテ知レシハ事知悉ク記載ス

死者編書

本籍

魁位

新風

軍用

出群

數尺對香

蓮花
一
機

卷一

卷之八

卷之四

卷之四

有由

五

嚴

晚

10

全
石
又

非空

五
變
程
現

卷八

[illegible]

1949

1

537

易經

87-2-01

卷八

年十月十六日

非為軍旅空談

一、

200

1864 217.15 公克

記 事	意	略 星	現 住 所	本 籍 地	生 年 月 日	身 高
與 船 名	戰 死 以 外 の 事	死 因	死 場 所	死 時 日	死 時 刻	死 時 の 天 候
船 名 船 主 船 主 の 職 務	船 名 船 主 船 主 の 職 務	船 名 船 主 船 主 の 職 務	船 名 船 主 船 主 の 職 務	船 名 船 主 船 主 の 職 務	船 名 船 主 船 主 の 職 務	船 名 船 主 船 主 の 職 務
現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日
現 住 年 月 日		現 住 年 月 日		現 住 年 月 日		現 住 年 月 日
現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日
現 住 年 月 日		現 住 年 月 日		現 住 年 月 日		現 住 年 月 日
現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日	現 住 年 月 日
現 住 年 月 日		現 住 年 月 日		現 住 年 月 日		現 住 年 月 日

結

瑞
意

時
鐘

不獨地

海西三海黨工部現批採用工員調書

卷之五

也

2016

[illegible]

漢書卷之九十五

生年
月
日

三子可也

本籍地

全野全

壽會

金

要

略
歷

標
圖
前

五、

任安

換用年月日

給料一日給

卷之六

張氏江蘇人

27

戰
區
別
及
戰
況

比律箋
并下三加

130

美
鬼

殘
環認者

住
所

五福(五)

歿歿以外、過

[illegible]

1972-1973

卷之五

(1987-1988)

記事

100

(全九册)

10940

死 歿 者 調 書

本籍地

現住所

所屬部隊

入國月日

官等級

戰地到着年月日

勤務概要

受傷年月日

病名(受傷部位)

治療経過

埋葬場所

右中一告又

[Redacted]

右 同

南菲龍空隊(元比島空隊)

役種 現 役 兵種 兵科

官等級 二 曹 日 氏 年 月 昭 [Redacted] 六 籍番號 [Redacted]

戰地到着年月日 昭和十九年十二月一日 (不現)

勤務概要 昭和二十一年一月 兵

受傷年月日 [Redacted]

病名(受傷部位) [Redacted]

治療経過 [Redacted]

埋葬場所 [Redacted]

右中一告又 [Redacted]

氏名	所屬部隊	現住所	官等	級	備考
	新築海軍航空隊		官等	級	
			八幡番號		

備考

- (一) 本調書ハ部隊長ハ残務取扱者等異地方係員局事務長兄通報スベキ責任者ニ於テ知照シテスルヲ確証モノノミニ限記載ス
- (二) 異籍在籍ノ時務士同進ニ但シ一官ニ付記載ス
- (三) 同存数人ハ勿論他方ニ生利者ハ就テモ記載ス
- (四) 知得シタル範圍於テ未ル限リ詳細ニ記載ス
- (五) 他方ヨリ聞キテ知シタル事項ハ各当該機関ニ相手方ヲ記載ス

證明書

本籍地

現住所

全 左

昭和六年徴集

海軍比島航空隊

上等水兵

一應召年月日

昭和十九年七月一日臨時召集ニヨリ舞鶴海兵團入團

一内地港灣
出發年月日

昭和十九年十月三十一日吳港出帆

一戰到者年月日

昭和十九年十一月十日比島マラ港上陸

一勤務概要

昭和十九年十一月五日ヨリ比島北都ルソン島

地区警備 昭和二十年一月十三日 赤山(通稱)地区に

移動爾來戦中遂ニ同年四月二十五日午後五時頃

ピナツボ山中森(通稱)附近無名可呼テ腹筋

白突刺ニヨリ戦死セリ

10247

現 認 明 書	本 籍 地	現 住 所	一 般 死 年 月 日	二 戰 死 現 場 死 亡 確 別	三 戰 死 現 場 所	四 戰 死 現 場 況	五 現 認 明 書	昭 和 三 十 三 年 三 月 廿 五 日	現 認 明 書 氏 名
			昭和三十三年四月	戦死	戦死	戦死	戦死		

（付 録）

144

出征より帰還マデノ行動概要

昭和十九年十一月十六日 吳海兵團ニテ第三十三特報ヲ

編成サレ、薩島サラシガニ島ヨリトシテ本隊ヲ上リ

一日マニラニ上陸シ十日程マニラニ滞在別外隊約八十名

ハレイテ島ヨリトシテ隊約八十名ハレガスピニ

防定隊トシテ本隊ニ列着スルヤ直ニ我闘開始約一

月間続ク 我闘終リ陸我隊第三十三等隊ヨリ

昭和二十年四月一日ニ敵ノ上陸トナリ 四月八日夜十時頃

レガスピニ上陸シテカマリシダヘ列着シ直ニ我闘開始

四月二十一日マデノ間我闘継続 四月二十五日我死

四月二十三日我死、 四月二十四日我死

四月二十八日夜カマリシダヲ脱去シ山中ニ引籠ル、
九月二十九日ニ終我ヲ知り山ヲ下ル、マニラニ到着捕虜

海軍

ノ身トナリニヶ月收容所ニ入所十二月九日緩員ト決
定マニラヲ本邦ニ十二月十二日大竹海兵團ニ般還
十二月十六日帰宅

戦死者ノ住所氏名

[Redacted text block]

[Redacted text block]

部·編·隨

真面目教上の注意を見ておいて下さい。(座及び真面目の各組は回数に及びません)

書 明 証 認 理 亡 死 邦・海・陸

裏面記載上の注意を見ておいて下さい (※及び面の各欄は記載に及びません)

資 料 提 供 者 死に知つた方法	死 亡 者									
	開戦時の住所 (在留地)	本籍地	区分	発病時期	発病場所	死に死亡区分	死亡日時	死亡場所	元死亡事由 (傷病名)	遺骨及び遺物の処理
個人の死に知つた方法 状態	所属(所轄) 固北菲海軍 部隊又は職 艦空隊	域名 通	内			戦死	昭和二十年四月二十四日	ルソン島クラーク地区ピナツボ(附)	米軍との戦死	
	細部 所 属 局 区 地	※	容	※	※	※	※	※	※	
関係のと者亡死	種兵 種役	水 現	者当担守留 名氏 所住現		死に当時の状況及び参考資料		本人が北菲空附としてクラークに戦死 に参加したものとあるが昭和二十年四月二十四日 に附近において戦死確実と思われる。			
所住現	級階の時亡死 (業職名は又)	二 曹	名氏 統柄(母)							
	名 氏		年 月 日生							
	女 男									

(別紙)		所轄役種	元七時	氏名	本籍地	元七當時の状況
所轄地区(舊)	階級	一水	(生年月日)	(現住所統稱氏名)	及び参考資料	個人的に記憶があるが北非
北非陸軍	國					近づく確率と見られる。
(ルン島)	(水)					個人的に記憶があるがオーストラリア
航空隊	現	隊長				と云ふことは地区に在りたが
(ルン島)	(水)					ビネ山附近で発見したと
戦車隊	現	隊長				確実と認められる。
飛行隊	現					個人的には記憶があるが北島
(ルン島)	(水)					に居住する者があるがクラン
同	現	同				地区で戦区に配置され
						たがビネ山附近で戦
						死したと確実と見られる

(終)

佐世保地方復興部

裏面記載上の注意を以てお読み下さい。
(※巻及び頁間の各欄は記載に及びません)

書 明 証 認 現 亡 死

邦・海・陸

裏面記載上の注意を記しておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

資 料 提 供 者		死 亡 者										死 亡 者 担 当 者								
死 亡 者 知 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	死 死 亡 場 所	死 死 亡 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	通 有 固 有 部 隊 又 は 職 域 名	種 兵	種 役	死 亡 時 階 級 (榮 功 名 職 又)	名 氏	年 月 日 生	女 男
個人の死に承知する 戦況に於ける 戦死状況				米軍との戦い	ルソン島クラーク地帯ピナツボ山附近	昭和二十年四月二十四日	※ 戦 死			内 容			飛行隊	飛行隊	整 現	上 整				
死 亡 者 と の 関 係 ルソン島 から生還する				※	※	※	※	※	※											
現 住 所 七ノ三ノ二 三ノ五ノ一																				
階 級 (名 職) 氏 名																				

本人が中七二戦隊から引つぎ比島に
 残留し台湾には移動してソノウカと
 比島に残留し改四〇一飛行隊員はクラ
 ーク地帯防衛部隊十六戦区に配置され
 てソノウカで本人も昭和二十年四月
 二十四日戦死確実と認められる。

死亡当時の状況及び参考資料

21. 2. 15 公表

409

姓名 籍貫 職別 階級 備考	略歴	遺言	死因
第百三海軍工作部現地探検工員關書 二等工員	係 前 昭和二年四月	戦 日 別 支 隊 戦 場 戦 時 戦 果	給 賞 状 共
第百三海軍工作部現地探検工員關書 二等工員	昭和二年四月 第百三海軍工作部現地探検工員關書 昭和二年四月 第百三海軍工作部現地探検工員關書	昭和二年四月 第百三海軍工作部現地探検工員關書 昭和二年四月 第百三海軍工作部現地探検工員關書	昭和二年四月 第百三海軍工作部現地探検工員關書 昭和二年四月 第百三海軍工作部現地探検工員關書

1607

附錄

端夏

姓	名	年	月	日	生
本籍地	現住所	一、家族等			

第百三海軍工作部現地採用工員調書

二第正

張

1000

年
月
日

陳
平
煎

康熙年

繪料一曰絲

四
別
賦

卷之四

॥ श्री गणेशाय नमः ॥

癰疽

卷一

海軍部

興
實

.....

日（機明）

[illegible]

昭和二十一年四月二十六日一八時五分

發瘰癧死（赤痢）

此種蜜光型ルソソ「サテマソ」

寶無

第百三海軍工作列丁

海軍五部大尉

11

現地於下
源部以未考也
（按）

理能於
相用
天下
不
不

4972

死殞者 調書

本籍地	縣	町	番地
現住所	縣	町	番地
所屬部隊	比島	第1師團	第1旅
自軍月	昭和	年	月
官等	少尉	長	
出生年月日	昭和	十九年	七月
死年月日	昭和	十九年	十月
勤務概要	ルノ	島	心
發病要因	昭和	二十年	三月
病名(受傷部)	マ	リ	ヤ
發病要因	假設	肺病	死
死年月日	昭和	二十年	四月

右 申告

65

昭和二十一年一月十一日

本籍地	現住所	所屬部隊	申告者氏名
[Redacted]	全縣	此處是步兵第一旅團	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	印
[Redacted]	[Redacted]	官軍第一等兵曹	入籍倉庫
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

495-10

57778

死 歿 者 調 書

本 隊	[Redacted]	現 任 所	右 金 所	管 部 隊	第 十 二 奥 雷 艇 隊	國 籍 日	昭 和 年 月 日	官 等 及 水 兵 長	氏 名 [Redacted]	内 務 省 出 発 年 月 日	昭 和 十 九 年 九 月 頃 (小 生 今 年 十 二 月 全 部 隊)	量 此 當 有 年 月 日	全 本	勤 務 概 要	西 部 三 十 三 年 昭 和 十 九 年 九 月 頃 (小 生 今 年 十 二 月 全 部 隊) 昭 和 十 九 年 九 月 頃 (小 生 今 年 十 二 月 全 部 隊) 昭 和 十 九 年 九 月 頃 (小 生 今 年 十 二 月 全 部 隊)	健 康 (受 傷) 年 月 日	昭 和 十 九 年 四 月 十 日	病 名 (受 傷) 年 月 日	腹 部 貫 通 銃 創 左 右	發 病 (受 傷) 又 戰 死 狀 況	昭 和 十 九 年 四 月 十 日 昭 和 十 九 年 四 月 十 日 昭 和 十 九 年 四 月 十 日
-----	------------	-------	-------	-------	---------------	-------	-----------	-------------	----------------	-----------------	---------------------------------------	---------------	-----	---------	---	-----------------	-------------------	-----------------	-----------------	---------------------	---

右申告又

昭和二十二年五月十五日

申告者

本籍地			
現住所	全	右	
所屬部隊	第...軍司令部	官等級	少佐
氏名		入籍番號	

備考

一、吳興守府在籍之時務主官在士官下士官及兵に付記載ス
 二、和歌縣人勿論他府縣出身者に付主官記載ス
 三、和歌縣人範圍に於て出米得山限り詳細に記載ス
 四、他人より得たる承知なる事項は各當該機關に預りて記載ス

昭和二十二年五月十五日
 内務省告示
 元音計表

肥事

端
思

陸
陸

現任	奉	生	國
(或姓名)	籍	年	氏
坊	號	月	名

漢道三總軍五部現地探厘工員調查

新考正理學

操
用
煎

癸卯年九月

給料一日給

三

一區
明
炊
景
四

場

通鑑綱目

殘
月
佳
山

增

豐殺以外之消口

不

賞

1992

庚子年九月

甘惟樂智勇
警務司何景輝
鈞鑒

漢晉書卷五十五

昭和九年九月十四日（撤用）

2000-2001

[illegible]

昭和二十年四月三十日

噤口

獸
死

融學聖集後序

此種藥水

角三子葉方インボニク合流其の素所

有

Figure 1

100

卷之五

收書之書

0111-11-11-11

2

明倫彙編
家範典
卷之六

（按：唐書）

五

小大序陳金

1998

1000 JOURNAL OF CLIMATE

419

2/0

英愛

元海軍大臣死因調査資料

英地方検察部

死没者の本籍、所屬、 氏名及び生年月日	當部で承知している死因の場 所及び年月日に並びに死因とな つた傷病名	受傷又は発病年月日及び場 所	受傷部位又は病名	死の経過、推察、監督 したつてどんな作樂を もてはましたか
一等子爵、伯爵、 [Redacted] 昭和5年、多岐病方面に於て、戦術死 （資料提供のため病名等不詳） 昭和5年、四月下旬、 [Redacted] 戦術死	昭和5年、四月下旬、 [Redacted] 戦術死	昭和5年、四月下旬、 [Redacted] 戦術死	昭和5年、四月下旬、 [Redacted] 戦術死	昭和5年、四月下旬、 [Redacted] 戦術死



廣島縣吳市下山手町四〇番地

吳地方復員部業務課

軍務係 田中

死亡者、生死不明者調査表

奈良縣世話課第二復員科

本籍地		所属部隊	生死別	死亡又は行方不明の状況	申告者
[Redacted]		G K F	戦病死	カウヤン(ルソン島ジラホ本北方)に戦死達中マラリヤにて死と (三環基報動達中マラリヤに於てG K Fに編入セラモノ)	所屬部隊 G K F 家族氏名 [Redacted] 兵 隊 員
兵 籍 番 號		氏 名	同上年月日	ニ、四、下旬	同上年月日
[Redacted]		[Redacted]	同上場所	ルソン島 ジラホ本北方	

2-41

215

66525

呉人第...のミハ...の文九

呉地方復員局人事部

現況不明者消息調査依頼票

昭和...年...月...日

172

中告者		元等級		上		氏名		籍地		等級		氏名		籍地		特任章		入籍章		入籍章	
現住所		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
本籍		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
所轄石		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
事項		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
死没		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
死没場所		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
死没状況		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
その他		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	

（一）戦没者行方不明年月日及び其の場所又は地域を明確に知得るおそれなき場合は推定として結構であるから努めて記述をいたすこと

（二）消息を確證するおそれ他人から得る知得者及びある必ず記述をいたすこと

（三）本票以外に戦没公表者及び消息を調査する際は追記を下さい

（四）呉市 呉地方復員局人事部 履歴 宛て送付下さい

昭和二十一年八月二日

陸軍省入道長官署名印
陸軍省庶務課長署名印
現住所

軍属
三ノ宮

浅瀬實地方法復員局人事部長官

陸軍省庶務課ノ件報告

三ノ宮運輸部

一 陸軍省庶務課ノ所轄
一 陸軍省庶務課ノ所轄
一 陸軍省庶務課ノ所轄

一 陸軍省庶務課ノ所轄

一 陸軍省庶務課ノ所轄

一 陸軍省庶務課ノ所轄

一 陸軍省庶務課ノ所轄

一 陸軍省庶務課ノ所轄

一 陸軍省庶務課ノ所轄

昭和二〇年四月

日午

時

分

モリタニバシ山中 アオス川下流

陸軍省庶務課ノ所轄

三ノ宮運輸部ノ所轄

陸軍省庶務課ノ所轄

陸軍省庶務課ノ所轄

陸軍省庶務課ノ所轄

陸軍省庶務課ノ所轄

42

昭和二十年

10月

23日

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

戦没者遺族の調査官 氏名印 軍属

53